

平成 29 年 10 月 31 日  
株式会社日本政策金融公庫

## 肉用牛肥育、茶、果樹が増収増益

～日本公庫調査、販売価格の上昇などにより売上高増加～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業は、毎年、お取引先の農業者の決算データを基に、業種別にその動向を分析しています。

平成 28 年の決算データ（対象 5,657 先）を分析した結果、販売価格の上昇などにより、「果樹」「茶」「肉用牛肥育」などで増収増益となりました。

<調査結果のポイント>

### ○ 耕種は茶、稲作、果樹が増収増益。茶は 4 年ぶりの増収増益。

茶は、販売価格低迷による収益低迷が続いていましたが、販売価格が上昇に転じたことにより 4 年ぶりに増収増益に転じました。

稲作は、28 年産米の収量が好天により前年を上回ったことに加え、主食用米から飼料米への転換が進み、主食用米の供給が減少見通しであったことなどから販売価格が上昇し、増収増益となりました。

施設野菜は、販売価格が上昇したことを受け、個人では増収増益となりましたが、法人では人件費負担が重く、前期並の経常利益となりました。

果樹は、販売価格が上昇したことにより増収増益となりました。

### ○ 畜産は酪農・肉用牛肥育で好調維持、養豚・採卵鶏が販売価格頭打ち

酪農は、乳価据え置きも、副産物収入である子牛の販売価格が上昇したことから、増収増益となりました。

肉用牛肥育は、平成 28 年中の販売価格が高水準で推移したことから、増収増益となりました。

養豚・採卵鶏は平成 26 年以降継続していた高値が下落に転じ、減収となりました。一方、費用面では燃油価格の下落に伴う燃料動力費の減少などにより、養豚（法人）及び採卵鶏では増益となりました。

分析対象先：農業を営む日本公庫のご融資先のうち 5,657 先（個人 4,134 先、法人 1,523 先）  
対象経営部門（農業収入の第 1 位部門で区分）

①耕種 8 部門：稲作、北海道畑作、果樹、露地野菜、施設野菜、施設花き、茶、きのこ

②畜産 5 部門：酪農、肉用牛肥育、養豚一貫、採卵鶏、ブロイラー

対象決算期：平成 26 年～28 年までの 3 か年を経年比較

法人は各年 12 月～翌年 3 月が決算期のもの

売上と所得・利益の対前年比較(平成28年農業経営動向分析)

業種		個人経営			法人経営			概要	
		サンプル数	売上高	農家所得(専従者給与控除前)	サンプル数	売上高	経常利益		
耕種	稲作	北海道	52	↑ 6.8%	→ 百万円未満	646	→ 3.3%	↑↑ 26.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人について、北海道は販売価格上昇・収量増加により増収、利益は前期並(微増)。都府県は販売価格上昇・収量増加により増収増益。</li> <li>法人について、販売価格上昇・収量増加により売上前年並(微増)、増益。</li> </ul>
		都府県	1,163	↑ 8.7%	↑ 18.1%				
	北海道畑作		30	→ -4.1%	↓ -12.9%	37	↓ -7.1%	↓↓ -58.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風の影響により個人・法人ともに、小麦・大豆・小豆・馬鈴薯・てん菜の生産量減少、国産小麦・大豆を中心とした生産物の販売価格下落を受け減収減益。</li> </ul>
	果樹		264	↑ 7.6%	↑↑ 24.5%	34	→ 4.3%	↑↑ 黒字転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人について、販売価格上昇を受け増収増益。</li> <li>法人について、売上高は前年並(微増)、黒字転換。</li> </ul>
	露地野菜	北海道	71	→ 百万円未満	→ 百万円未満	64	→ 1.0%	↓↓ -26.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人について、北海道は販売価格下落が影響し売上前年並(微減)、所得は費用削減により前年並(微増)。都府県は天候不順時に販売価格が上昇したことが影響し、増収増益。</li> <li>法人について、売上前年並(微増)も、減価償却費等費用増加により減益。</li> </ul>
		都府県	324	↑ 6.6%	→ 百万円未満				
	施設野菜		703	↑ 7.4%	↑ 10.9%	60	→ 4.0%	→ 百万円未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人は販売価格上昇を受け、増収増益。</li> <li>法人は販売価格上昇も、労務費・人件費等増加の影響により売上・利益ともに前年並。</li> </ul>
	施設花き		163	→ 百万円未満	→ 百万円未満	25	→ -1.1%	↑↑ 黒字転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人について、出荷量減少も単価上昇により売上高・所得とも前年並(微増)。</li> <li>法人について、売上高は前年並(微減)も、燃料動力費を始めとした費用削減により黒字転換。</li> </ul>
	茶		92	↑↑ 12.5%	↑↑ 68.3%	28	↑↑ 17.8%	↑↑ 黒字転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人について、販売価格上昇に伴い増収増益。</li> <li>法人について、販売価格上昇に伴い増収。材料費等費用増加も売上増加が費用増加を上回り黒字転換。</li> </ul>
きのこ		18	→ 百万円未満	↑↑ 27.8%	23	→ -1.2%	↓↓ -27.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人は売上前年並(微増)。材料費、労務費・人件費等削減により増益。</li> <li>法人は売上前年並(微減)。労務費・人件費等増加により減益。</li> </ul>	

・前年比(売上高)    ↑↑ :10%超増    ↑ :5~10%増    → :±5%未満増減    ↓ :5~10%減    ↓↓ :10%超減  
 ・前年比(所得・利益)    ↑↑ :20%超増    ↑ :10~20%増    → :±10%未満増減    ↓ :10~20%減    ↓↓ :20%超減

注: 所得・利益について、黒字転換の場合は ↑↑、赤字転落の場合は ↓↓、赤字幅縮小の場合は ↑、赤字幅拡大の場合は ↓ とした。  
 ただし、増減幅が百万円未満の場合は上記によらず → とした。

売上と所得・利益の対前年比較(平成28年農業経営動向分析)

業種		個人経営			法人経営			概要	
		サンプル数	売上高	農家所得(専従者給与控除前)	サンプル数	売上高	経常利益		
畜産	酪農	北海道	58	↑ 7.0%	↑ 14.1%	100	→ 4.5%	↑↑ 26.9%	・個人について、乳価据え置きも子牛販売価格上昇を受け、北海道で増収・増益、都府県で売上前年並(微増)、増益。 ・法人について、個人同様乳価据え置きも子牛販売価格上昇を受け、北海道で売上前年並(微増)、増益。都府県で増収増益。
		都府県	651	→ 4.2%	↑↑ 32.0%	136	↑ 6.1%	↑↑ 59.2%	
	肉用牛肥育	387	↑↑ 10.8%	↑↑ 43.4%	98	↑ 6.2%	↑↑ 53.1%	・個人・法人ともに販売価格上昇を受け増収増益。	
	養豚	112	↓ -6.6%	→ -7.6%	169	→ -0.4%	↑ 15.6%	・個人は枝肉販売価格下落に伴い減収、所得は前年並(微減)。 ・法人は枝肉販売価格下落も売上は前年並(微減)。燃料動力費等削減により増益。	
	採卵鶏	27	↓ -5.8%	↑↑ 32.0%	87	→ -3.4%	↑ 14.6%	・個人について、卵の販売価格下落により減収も、飼料価格下落に伴う材料費減少により増益。 ・法人について、売上高は前年並(微減)。飼料価格下落に伴う材料費減少により増益。	
	ブロイラー	19	↑ 7.5%	↑↑ 30.5%	16	→ -1.8%	→ -8.7%	・個人は販売価格下落も生産量増加により、増収増益。 ・法人は売上前期並(微減)も、労務費・人件費の増加等により減益。	

・前年比(売上高)    ↑↑ :10%以上増    ↑ :5~10%増    → :±5%増減    ↓ :5~10%減    ↓↓ :10%以上減  
 ・前年比(所得・利益)    ↑↑ :20%以上増    ↑ :10~20%増    → :±10%増減    ↓ :10~20%減    ↓↓ :20%以上減

注: 所得・利益については、増減幅が百万円未満の場合は上記によらず → とした。また、黒字転換の場合は ↑↑、赤字幅縮小の場合は ↑ とした。

売上と所得・利益の対前年比較(平成28年農業経営動向分析)

個人経営												
業種		サンプル数	経営規模		売上高(百万円)			農家所得(専従者給与控除前)(百万円)				
			単位	27年 A	28年 B	27年 A	28年 B	増減率 ((B/A)-1)*100	27年 A	28年 B	増減率 ((B/A)-1)*100	
耕種	稲作	北海道	52	水稲作付面積(ha)	14.9	15.1	28.1	30.0	6.8%	8.2	8.4	百万円未満
		都府県	1,163		14.1	14.7	27.6	30.0	8.7%	7.2	8.5	18.1%
	北海道畑作		30	経営耕地面積(ha)	46.2	46.3	55.9	53.6	-4.1%	16.3	14.2	-12.9%
	果樹		264	第1位品目作付面積(ha)	2.6	2.6	17.1	18.4	7.6%	4.9	6.1	24.5%
	露地野菜	北海道	71		9.2	10.7	48.4	47.7	百万円未満	13.6	14.4	百万円未満
		都府県	324	3.9	4.1	36.6	39.0	6.6%	10.6	11.5	百万円未満	
	施設野菜		703	第1位品目栽培面積(千㎡)	6.0	6.1	35.0	37.6	7.4%	10.1	11.2	10.9%
	施設花き		163		6.2	6.3	45.0	45.7	百万円未満	9.2	9.5	百万円未満
茶		92	茶園面積(ha)	6.2	6.3	28.7	32.3	12.5%	4.1	6.9	68.3%	
きのこ		18	第1位品目収穫量(t)	47.5	47.9	32.4	32.7	百万円未満	5.4	6.9	27.8%	
畜産	酪農	北海道	58	成牛頭数(頭)	98.9	95.6	97.8	104.6	7.0%	18.5	21.1	14.1%
		都府県	651		67.0	67.4	80.8	84.2	4.2%	10.3	13.6	32.0%
	肉用牛肥育		387	飼養頭数(頭)	254.2	255.3	151.7	168.1	10.8%	18.2	26.1	43.4%
	養豚		112	繁殖雌豚頭数(頭)	144.3	144.2	122.3	114.2	-6.6%	17.1	15.8	-7.6%
	採卵鶏		27	飼養羽数(千羽)	34.7	34.8	135.6	127.8	-5.8%	10.3	13.6	32.0%
ブロイラー		19	47.8		48.6	106.6	114.6	7.5%	8.2	10.7	30.5%	

売上と所得・利益の対前年比較(平成28年農業経営動向分析)

法人経営												
業種		サンプル数	経営規模		売上高(百万円)			経常利益(百万円)				
			単位	27年 A	28年 B	27年 A	28年 B	増減率 ((B/A)-1)*100	27年 A	28年 B	増減率 ((B/A)-1)*100	
耕種	稲作		646	水稲作付面積(ha)	29.4	29.7	61.5	63.5	3.3%	7.2	9.1	26.4%
	北海道畑作		37	経営耕地面積(ha)	77.1	79.7	83.2	77.3	-7.1%	9.6	4.0	-58.3%
	果樹		34	第1位品目作付面積(ha)	6.5	6.5	80.6	84.1	4.3%	-0.9	1.0	黒字転換
	露地野菜		64		16.8	17.1	112.6	113.7	1.0%	5.6	4.1	-26.8%
	施設野菜		60	第1位品目栽培面積(千㎡)	19.5	19.8	128.8	134.0	4.0%	0.2	0.2	百万円未満
	施設花き		25		8.9	8.3	105.9	104.7	-1.1%	-2.1	0.9	黒字転換
	茶		28	茶園面積(ha)	25.4	24.3	121.0	142.5	17.8%	-7.2	9.6	黒字転換
	きのこ		23	第1位品目収穫量(t)	419.1	457.4	297.6	293.9	-1.2%	25.8	18.6	-27.9%
畜産	酪農	北海道	100	成牛頭数(頭)	220.3	232.8	219.3	229.2	4.5%	20.1	25.5	26.9%
		都府県	136		182.6	189.4	232.0	246.1	6.1%	14.2	22.6	59.2%
	肉用牛肥育		98	飼養頭数(頭)	1,595.2	1,629.7	933.2	990.8	6.2%	66.9	102.4	53.1%
	養豚		169	繁殖雌豚頭数(頭)	651.1	661.2	595.7	593.1	-0.4%	35.9	41.5	15.6%
	採卵鶏		87	飼養羽数(千羽)	306.1	314.5	1235.8	1194.1	-3.4%	60.8	69.7	14.6%
ブロイラー		16	647.2		648.8	3614.1	3550.8	-1.8%	191.8	175.2	-8.7%	

注1) 経営規模、売上高、農家所得及び経常利益は経営部門毎の平均値を記載

注2) 増減率はラウンドの関係で数値が合わない場合がある